

市の事務・事業における温室効果ガス排出量について

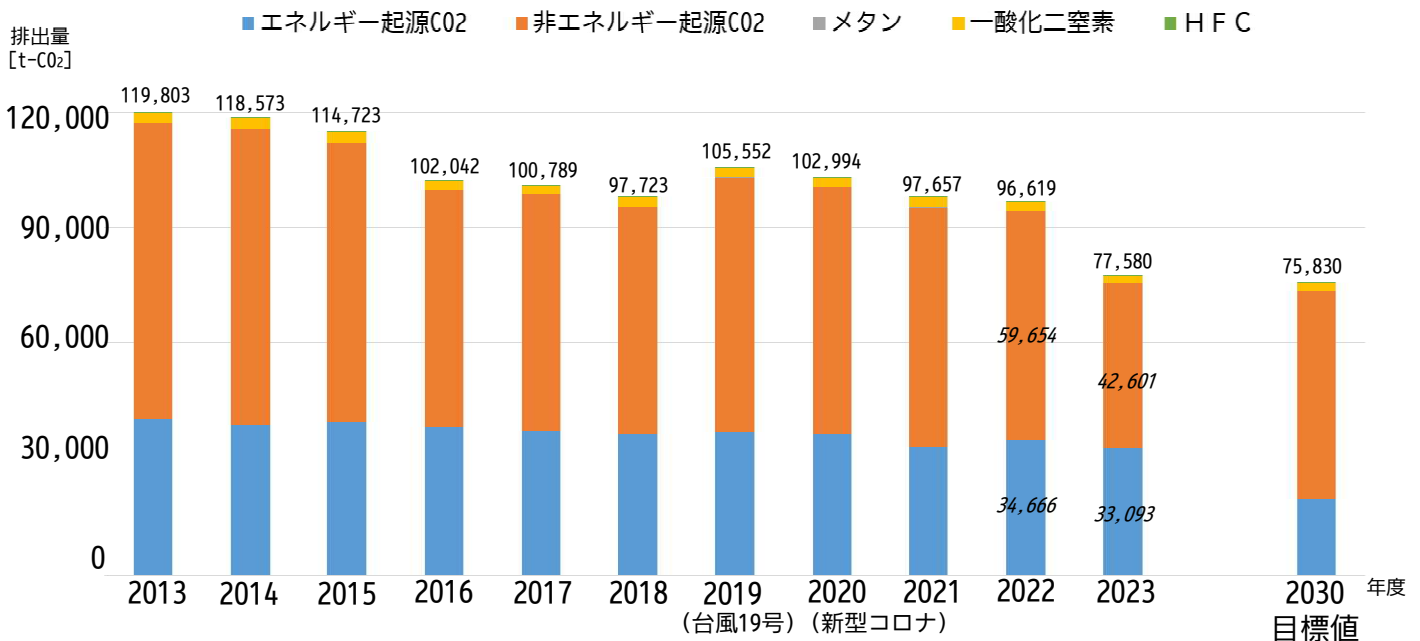
1 市の事務・事業における温室効果ガス排出量

	2013年度 ＜基準年度＞	2022年度実績 ＜2013年度比＞	2023年度実績 ＜2013年度比＞	2030年度目標 ＜中期目標＞
温室効果ガス排出量 [t-CO ₂]	119,803	96,619 (-19.4%)	77,580 (-35.2%)	75,830 (-36.7%)

＜事務・事業における温室効果ガス排出量 とは＞

- ・市職員の業務や公共施設の運営等に伴う温室効果ガス排出量
- ・エネルギー（電気、ガス、ガソリン等）の使用量等から算出（毎年度7月に各課より集計）
- ・地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアルに基づき算出

2 市の事務・事業における温室効果ガス排出量の推移



3 分析と対策について

◆排出量減少の要因

① エネルギー起源CO₂

- ・2022年度：34,666[t-CO₂] → 2023年度：33,093[t-CO₂] (1,573[t-CO₂] (約4.5%) 減少)
- ・庁舎のLED化、車両のEV化、各施設の省エネルギーの取組による。

② 非エネルギー起源CO₂

- ・2022年度：59,654[t-CO₂] → 2023年度：42,601[t-CO₂] (17,050[t-CO₂] (約28.6%) 減少)
- ・ごみ焼却量の減少による。

◆今後の対策

- ・照明設備の更なるLED化
- ・公共施設への太陽光発電設備の導入
- ・施設改修時のZEB化等